

史跡旧奥行白駒遞所保存管理計画書

—平成 24・25 年度史跡等保存管理計画策定事業報告書—

北海道別海町教育委員会

2014

はじめに

北海道東部に位置する別海町は、日本一の規模を有する酪農地帯であるとともに、可住面積が全国の市町村で日本一の市町村であります。この広大な大地の開拓は辛らつを極めました。明治中期以降の内陸部への入植に際し大きな役割を果たしたのが駅通所でした。

奥行臼駅通所は明治43年に当地草分けの世話役であった山崎藤次郎氏を取扱人として開設されました。昭和5年に廃止になるまで、当地入植者の世話をし、また交通の重要な拠点として旅人に利用されました。

本町ではこの駅通所を昭和57年に町有形文化財に指定し、町民あげてこの貴重な文化財の保護保存に取り組んでまいりました。平成6年には北海道有形指定文化財となり、平成23年には国の史跡に指定されました。

しかし駅通所の建物は老朽化が著しく、一刻も早い修理が望まれます。また、旧奥行臼駅通所周辺には、町指定文化財である国鉄奥行臼駅や村営軌道風蓮線奥行臼停留所があり、これらも含めた一体的な整備も課題となっております。

このため、「史跡旧奥行臼駅通所保存管理計画策定委員会」を設置し、平成24年度から2年間にわたり検討を重ねた結果、この度本保存管理計画を策定することになりました。

本計画が、史跡旧奥行臼駅通所の恒久的保存の指針となり、交流の核として活用されていくことを願っております。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり、ご指導、ご協力をいただきました関係者の皆様に対して深く感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年3月

別海町教育委員会
教育長 真 籠 毅

例 言

1. 本書は、北海道野付郡別海町奥行 15 番 12 ほかに所在する史跡旧奥行臼駅通所の保存管理計画書である。なお本計画は、パブリックコメント手続を実施することで、町民からの意見を反映させていることを申し添える。
2. 本書は史跡旧奥行臼駅通所保存管理計画策定委員会の審議を経て、別海町教育委員会事務局が執筆・編集を行った。
3. 本事業は、「史跡等保存管理計画策定費」国庫補助金を受けて、平成 24 年度～ 25 年度の 2 カ年で実施した。
4. 本報告書に添付した史跡旧奥行臼駅通所指定地及び周辺地域の地形図は、平成 24 年度に北海航測株式会社に委託して実施した「史跡旧奥行臼駅通所地形図作成業務委託」の成果品を基に作成した。
5. 本計画の策定にあたり、下記の方々及び機関のご協力・ご助言をいただいた（順不同、敬称略）。
 - 厚沢部町教育委員会
 - 恵庭市教育委員会
 - 奥行町内会
 - 上ノ国町教育委員会
 - 川村俊也
 - 北広島市教育委員会
 - 齊藤春雄
 - 関川修司
 - 竹内松男
 - 榎山満夫
 - 林聖次
 - 広島カツ子
 - 福原義親
 - 山崎弘二
 - 山崎アイ子
 - 横井チヨ子

目 次

第1章 保存管理計画策定の沿革と目的	1
1. 保存管理計画策定に至る経緯.....	1
2. 保存管理計画の目的.....	1
3. 保存管理計画の策定体制.....	1
(1) 委員会の設置と体制.....	1
(2) 計画策定までの経過.....	2
第2章 別海町の位置と環境	5
1. 自然環境.....	5
(1) 位置.....	5
(2) 地形と地質.....	6
(3) 気候.....	6
(4) 動植物.....	7
2. 社会環境.....	7
(1) 歴史.....	7
(2) 交通.....	9
(3) 産業.....	10
(4) 文化財.....	11
第3章 史跡旧奥行白駅通所の概要	13
1. 奥行白駅通所の歴史.....	13
(1) 駅通制度の概要.....	13
(2) 奥行白の歴史.....	13
(3) 駅通所の開設と駅通取扱人山崎藤次郎.....	14
(4) 奥行白駅通所の廃止.....	14
(5) 奥行白駅通所の駅通史における位置づけ.....	15
2. 指定に至る経緯.....	16
第4章 史跡指定地及び周辺の現況	19
1. 指定地の植生.....	19
2. 指定地の稀少動物.....	19
3. 土地の所有状況.....	19
4. 法令による土地規制.....	21
(1) 森林法.....	21
(2) 農地法及び農業振興地域の整備に関する法律（農振法）.....	22
(3) 北海道文化財保護条例.....	22
(4) 文化財保護法.....	22
5. 駅通所・附属施設・その他の史跡構成要素.....	22
(1) 駅通所.....	22

(2) 馬小屋	22
(3) 倉庫	23
(4) その他の史跡構成要素	26
6. 現行の維持管理体制	27
(1) 入館者数の推移	27
(2) 維持管理体制	28
7. 駅通所周辺の交通遺産	29
(1) 旧奥行白駅	29
(2) 旧村営軌道風蓮線奥行白停留所	29

第5章 史跡旧奥行白駅通所の保存管理と整備 31

1. 史跡を構成する諸要素の整理	31
(1) 史跡の本質的価値を構成する諸要素	31
(2) 史跡の本質的価値を構成する諸要素に準じる諸要素	33
(3) 史跡の本質的価値を構成する諸要素以外の諸要素	34
① 史跡の保存管理上有効な諸要素	34
② 史跡の保存管理上調整が必要な諸要素	36
2. 史跡の周辺地域の環境を構成する諸要素	44
(1) 自然・牧草地	44
(2) 文化財	44
(3) 交通	44
(4) 公共施設	44
3. 史跡旧奥行白駅通所の保存管理と整備	46
(1) 保存管理の基本方針	46
(2) 整備の基本方針	46
(3) 史跡の本質的価値を構成する諸要素の保存管理と整備	46
(4) 史跡の本質的価値を構成する諸要素に準じる諸要素の保存管理と整備	48
(5) 史跡の本質的価値を構成する諸要素以外の諸要素の保存管理と整備	48
① 史跡の保存管理上有効な諸要素	48
② 史跡の保存管理上調整が必要な諸要素	48
4. 公有化・追加指定	49
5. 史跡指定地のエリア別の整備方針	51
6. 現状変更等の取扱い方針と基準	53
(1) 現状変更の取扱い方針	53
① 現状変更が認められない行為	53
② 現状変更許可が必要な行為	53
③ 現状変更の許可を要しない行為	53
(2) 現状変更の取扱い基準	54
7. サイン計画	56

第6章 奥行白史跡公園の保存管理と整備 57

1. 今後の整備・活用の方針	57
----------------	----

(1) 奥行臼史跡公園整備構想	57
① 史跡公園整備の基本方針	57
② 史跡公園用地検討範囲	57
③ 「歴史まちづくり法」に基づく史跡公園の整備	57
④ 史跡公園ガイダンス施設の設置	57
⑤ 体験学習の場としての史跡公園	58
⑥ 町民の憩いの場としての史跡公園	58
(2) ゾーン別の整備方針	60
2. 整備工程と期間	63
第7章 運営と体制整備	65
1. 基本方針	65
2. 地域住民及び利用者の参画	65
3. 交通遺産を軸とした広域連携	65
第8章 今後の課題	67
参考文献	68
資料編	71
1. 風蓮湖及びその周辺の植物目録	72
2. 風蓮湖及びその周辺で観察された鳥獣類	81
3. 史跡旧奥行臼駅通所植生調査報告書	88
4. 奥行臼駅通に棲むコウモリ類	125
5. 史跡旧奥行臼駅通所主屋基礎調査報告書	128
6. 「材木小屋」調査について	181

図 目次

図1 別海町位置図	5	図10 史跡の保存管理上有効な諸要素	41
図2 別海町内の指定文化財位置図	12	図11 史跡の保存管理上調整が必要 な諸要素(1)	42
図3 史跡旧奥行臼駅通所指定範囲	18	図12 史跡の保存管理上調整が必要 な諸要素(2)	43
図4 史跡旧奥行臼駅通所土地所有 区分図	20	図13 史跡周辺地域の環境を構成す る諸要素及び史跡周辺公道の交通量	45
図5 史跡旧奥行臼駅通所防霧保安林	21	図14 史跡追加指定検討位置図	50
図6 道指定文化財位置図	23	図15 史跡指定地のエリア区分	52
図7 旧奥行臼駅通所駅舎入館者数推移	28	図16 史跡公園用地検討範囲	59
図8 史跡の本質的価値を構成する 諸要素(1)	39	図17 奥行臼史跡公園のゾーニング	61
図9 史跡の本質的価値を構成する 諸要素(2)	40		

表 目次

表 1	別海町の平年値	6
表 2	主要都市・空港から別海市街までの 距離と時間（自家用車）	10
表 3	別海町内の指定文化財	11
表 4	別海町歴史文化遺産	11
表 5	史跡指定地地番別地積と所有区分	20
表 6	史跡指定地所有区分別地積と割合	20
表 7	奥行白駅通所駅舎入館者数	27
表 8	現状変更の取扱い基準	55

写真 目次

写真 1	駅通所駅舎	24	写真 25	トドマツ植林地（昭和初期）	35
写真 2	馬小屋 1	24	写真 26	井戸跡	35
写真 3	馬小屋 1 内部	24	写真 27	井戸小屋	35
写真 4	馬小屋 2	25	写真 28	池	36
写真 5	馬小屋 2 内部	25	写真 29	小川	36
写真 6	倉庫	25	写真 30	ロケセット A	36
写真 7	浜中線旧道	26	写真 31	ロケセット B	36
写真 8	西別への旧道	26	写真 32	ロケセット C	36
写真 9	別海町指定文化財「奥行白駅」	29	写真 33	ロケセット D	36
写真 10	別海町指定文化財「旧村営軌道 風蓮線奥行白停留所」保存車両	29	写真 34	牛舎	37
写真 11	旧馬頭観音跡	32	写真 35	屎尿施設	37
写真 12	馬頭観音（昭和初期）	32	写真 36	材木小屋（2012 年）	37
写真 13	旧大和神社跡	32	写真 37	材木小屋（2013 年）	37
写真 14	旧大和神社（1978 年）	32	写真 38	旧浜中線上にある鉄条網	37
写真 15	山藤の松跡	33	写真 39	ロケセットとして設置された牧柵	38
写真 16	山藤の松（昭和初期）	33	写真 40	旧浜中線沿い牧柵（昭和初期）	38
写真 17	土塁跡	33	写真 41	新馬頭観世音菩薩石碑	38
写真 18	駅通所南棟前の土塁（大正期）	33	写真 42	旧馬頭観世音菩薩石碑	38
写真 19	駅通所に残る文書	33	写真 43	旧国鉄標津線フットパスツアー の様子（ケネヤウシュベツ川）	58
写真 20	駄鞍	34			
写真 21	会席膳	34			
写真 22	オクユキウスの大櫓	34			
写真 23	後背地を形成するハンノキ・ トドマツ林と牧草地	34			
写真 24	トドマツ植林地	35			